

ブラックビューティーとゴルゴサウルス全身骨格産状について

1 経緯

今回の特別展では、カナダのアルバータ州にあるロイヤルティレル博物館から、ティラノサウルス“ブラックビューティー”の頭骨やゴルゴサウルス全身骨格産状化石を含む3点の貴重な実物化石を借用します。

ロイヤルティレル博物館は、1985年に開館したカナダを代表する古生物学の博物館です。当館が開館した直後の2000年11月に姉妹提携を結び、第1回となった2001年の特別展では「ロイヤルティレル古生物学博物館の恐竜たち」を開催しました。その際に展示したブラックビューティーの頭骨はレプリカでしたが、20年以上を経て、今回初めて実物の頭骨がやって来ます。

7月5日（金）に、ロイヤルティレル博物館のスタッフ立ち会いのもと、開梱を行い、指定の標本が間違いなく届いているか、輸送中に損傷等なく無事に到着したかを確認します。

2 展示標本

(1) ティラノサウルス・レックス（ブラックビューティー）

- ① 学名 *Tyrannosaurus rex*
- ② 分類 竜盤類 獣脚類 ティラノサウルス科
- ③ 時代 中生代 後期白亜紀
- ④ 産地 カナダ アルバータ州
- ⑤ 大きさ 頭骨長 1.27m

ブラックビューティーは、1980年の夏、カナダのアルバータ州南西部クロウズネスト峡谷付近で発見されました。最初にこの標本を見つけたのは、偶然にもこの辺りで釣りをしていた2人の高校生でした。その後、当時アルバータ州立博物館にいたフィリップ・カー博士に連絡が入り、1982年から本格的な発掘調査が始まりました。

この標本は、後期白亜紀に形成されたウィロークリーク層から発掘されました。この地層の堆積環境から、ブラックビューティーは、やや乾燥した気候の中で生活していたと考えられます。ブラックビューティーが漆黒に輝いているのは、化石になる過程で地層中のマンガンを取り込んだためです。

この頭骨は、ティラノサウルス・レックスの中でも特に保存状態が良く、長さは1.27mあります。これは、他の多くのティラノサウルス・レックスの標本よりも小さめですが、その形状や構造をよく観察することができます。

頭骨を横から見ると、4つの大きな開口部があります。これらは前方から骨鼻口、前眼窩窓、眼窩、外側側頭窓と呼ばれます。前眼窩窓には巨大な気嚢が存在していました。眼窩後方の外側側頭窓には、顎の開閉に関わる筋肉が収まっていた。

鼻面のでっぺんや眼窩周辺の背側はややでこぼこしているように見えます。しかし、他の多くのティラノサウルス類の標本のものよりはなめらかです。この部分がごつごつしていないのは、ブラックビューティーが若齢で死んだためだと考えられます。

また、ティラノサウルスに特徴的に見られる眼窩の前の涙骨上部にある発達した角状突起がありません。この角状突起は、アロサウルスの仲間やその他アルバートサウルスなどのティラノサウルス類でも知られているものです。この涙骨の特徴がブラックビューティーで見られないことも、この個体が若かったことを示しています。



(2) ゴルゴサウルス全身骨格産状

- ① 学名 *Gorgosaurus libratus*
- ② 分類 竜盤類 獣脚類 ティラノサウルス科
- ③ 時代 中生代 後期白亜紀
- ④ 産地 カナダ アルバータ州
- ⑤ 全長 約6m

この全身化石は、1999年にアルバータ州立恐竜公園（Dinosaur Provincial Park）で発見されました。その保存状態は奇跡的であり、デスポーズと呼ばれる、頭と尾を背中側へ大きく逸らして弧を描くような姿勢で地層中に保存されていました。死後、奇跡的にも他の動物によって荒らされたり、腐敗や風化の影響を受けたりすることなく、速やかに砂や泥に埋まったと考えられます。

同年6月から発掘が始まりましたが、化石の大きさや形状、脆さなどにより作業は難航し、片面を石膏ジャケットで覆ったのは7月下旬でした。このブロックは約9.5トンでロイヤルティレル博物館が採集した化石ブロックの中でも最大級の大きさであり、それをひっくり返して特別製のソリに乗せるためには、19人の作業員と2台のバギーが必要でした。その後、ソリの上でジャケットを完成させて、運搬用のトラックまで引っ張っていくのにさらに5時間もかかりました。

ゴルゴサウルスは、大型で歯は鋭く、小さな前肢の指は2本でティラノサウルス科の特徴が見られます。同じティラノサウルス科で非常に近縁なアルバートサウルスとともにアルバータ州を代表するティラノサウルスの仲間です。発見された地層は、ティラノサウルスやアルバートサウルスよりも500万年ほど古い時代のもので、全身骨格を含め数多くの化石が採集されています。また、同じ地層からは、ティラノサウルス科のダスプレトサウルスも見つかっています。同じ場所に背骨好のよく似たティラノサウルス科が共存していたことにはなりますが、どのように住み分けしていたのかは謎に包まれています。

